

つくば市記者会 御中

発信日：令和3年（2021年）9月21日（火）

発信元：つくば市 市長公室 危機管理課

取材依頼 周知依頼 募集告知 その他

日産自動車株式会社及び茨城日産自動車株式会社と、
災害時における電気自動車による電力供給に関する協定を締結しました

この協定は、災害時において電気自動車や充電スタンド等をつくば市が無償で借り受け、停電時における電力供給体制を整えることで、市民の生命、身体及び財産を守ることを目的としたものです。

つくば市は本協定の締結を機に、ゼロ・エミッション社会の実現を目指す日産自動車株式会社の『ブルー・スイッチ』活動とともに、環境に優しく災害に強い持続可能なまちづくりの推進やEVの普及を通じた地域課題の解決、脱炭素化社会の実現、SDGsの達成に向け、様々な取り組みを行なっていきます。

【協定名】 災害時における電気自動車による電力供給に関する協定

【締結日】 令和3年9月17日（金）

※新型コロナウイルス感染症対策のため、締結式は省略しオンラインで写真撮影を行いました。

【その他】 詳しい協定内容については、別紙をご覧ください。



NISSAN



締結後のオンライン表敬訪問時の様子

ブルー・スイッチについて

ゼロ・エミッション社会の実現を目指す日産自動車が、EVの普及を通じて、環境、防災、エネルギーマネジメント、観光、過疎などの地域課題を解決することを目指し、2018年5月から全国の自治体や企業、販売会社と推進している活動です。



NISSAN

令和3年(2021年)9月17日

つくば市と日産自動車、電気自動車を活用し防災力強化と脱炭素化に向けて連携 ～ブルー・スイッチ 142 件目、「災害時における電気自動車による電力供給に関する協定」を締結～

つくば市(茨城県つくば市、市長:五十嵐 立青)と、日産自動車株式会社(本社:神奈川県横浜市西区、社長:内田 誠)、茨城日産自動車株式会社(本社:茨城県水戸市千波町、社長:加藤 敏彦)の3者は、17日、「災害時における電気自動車による電力供給に関する協定」を締結しました。

本協定は、つくば市で災害による停電が発生した際、日産の販売会社から貸与する電気自動車(EV)「日産リーフ」を電力源とした災害時の電力供給体制の構築と、EVの「走る蓄電池」としての価値の普及を目的とした協定で、ゼロ・エミッション社会の実現を目指す日産の『ブルー・スイッチ』活動としては142件目の取り組みとなります。

【協定の経緯・背景】

つくば市は、防災力強化への取り組みに加え、「つくば環境スタイル“SMILe”」を掲げ、低炭素化社会の実現に向けた環境対策に取り組んでいます。また、2018年6月に「SDGs 未来都市」に選定され、持続可能なまちづくり実現を目指し、SDGs 推進にも積極的に取り組んでいます。

一方、日産自動車は、EV ならではの新たな価値やワクワクを提供し続けるとともに、2018年5月より、EVの普及を通じて、環境、防災、エネルギーマネジメント、観光、過疎などの地域課題解決を目指す、日本電動化アクション『ブルー・スイッチ』を、全国の自治体や企業、販売会社と共に推進しています。また、2030年代早期には、主要市場で投入する新型車すべてを電動車両にすることを宣言、電動化をリードしながら、SDGsの達成やカーボンニュートラルの実現に向けた取り組みを加速しています。

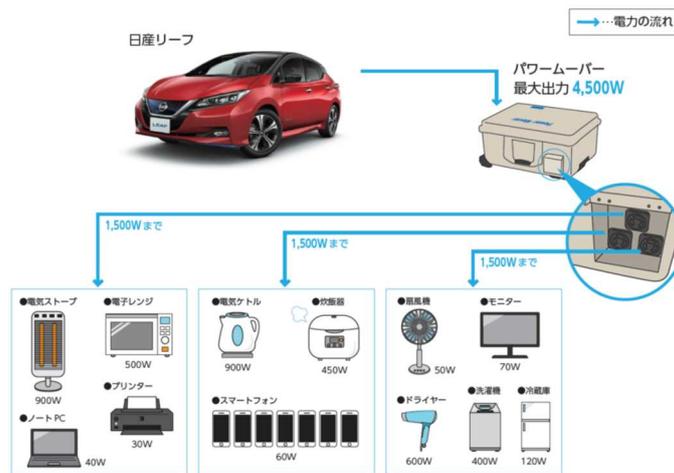
この日産自動車が進める『ブルー・スイッチ』、そして、つくば市が進める環境・防災対策やSDGsの推進と、双方の取り組みに相互が賛同し、本協定の締結を行う運びとなりました。



【協定の概要と主な連携内容】

「災害時における電気自動車による電力供給に関する協定」の概要は、以下の通りです。

- つくば市で災害を起因とする停電が発生した際、つくば市からの要請により、市が指定する避難所へ、茨城日産自動車から、電気自動車(EV)日産リーフを無償貸与する。また、茨城日産自動車、および日産プリンス茨城販売株式会社、株式会社アキュラホームの店舗を災害時における電力供給拠点*として使用し、電気自動車(EV)日産リーフからの電力供給を行うことで、災害時においても継続して電力が供給できる体制を整え、市民の生命、身体及び財産を守る。
 - * 災害時における電力供給拠点は、今後も協力企業を募り、増やしていくことを目指す。
- つくば市および日産自動車、茨城日産自動車は、平常時も電気自動車(EV)の普及促進を行うほか、市イベントで使用する電力を電気自動車(EV)から供給することで、電気自動車の「走る蓄電池」としての活用を市民へ積極的にアピールし、環境・防災意識向上を目指す。



災害発生時の「日産リーフ」からの電力供給イメージ図

つくば市は、公用車として電気自動車「日産リーフ」を導入の他、電気自動車および電気自動車(EV)の電力を建物の電力として活用できる電力変換装置 V2H (Vehicle to Home) の購入時の補助金を設定しており、今後も環境に優しい電気自動車(EV)の普及を目指し、環境・防災力向上に努めていきます。

つくば市と日産自動車は、本協定締結を機に、電気自動車(EV)を活用した、環境に優しく災害に強い持続可能なまちづくりを推進し、美しい自然環境を未来に残すため、EVの普及を通じた地域課題の解決、脱炭素化社会実現、SDGs 達成に向けて、更に連携を強化してまいります。

以上

日本電動化アクション「ブルー・スイッチ」ウェブサイト:<https://ev.nissan.co.jp/BLUESWITCH/>